

## ＜H25年3月開催 自転車セミナー＞報告書

日 時：平成25年3月12日（火）18:00～19:30

場 所：日本自転車会館3号館11階 （一財）日本自転車普及協会会議室  
（東京都港区赤坂1-9-3）

講 師：西村 敏彦 氏（一般社団法人日本損害保険協会 生活サービス部長）

テ ー マ：「自転車の事故と保険」

＜要旨＞ 平成24年度の最終セミナーとして、「自転車の事故と保険」をテーマとして行いました。交通事故全体における自転車事故の割合は、約2割と漸増傾向にあるため、見過ごすことのできない社会問題となっております。交通事故全体の総数を減らすという意味でも、自転車の交通安全に真剣に取り組んで行く必要があり、今回、この問題について、「知っていますか？自転車の事故～安全な乗り方と事故への備え～」（(一社)日本損害保険協会発行）の冊子をもとに、ご講演いただきました。

損害保険協会の活動については、

○損害保険の啓蒙活動

○交通安全→交通事故が多発して、保険料を上げないようにするため。

※今回のセミナーでは、特に、自転車の交通安全事故が起きないためにどうするか？

要点としましては、

P. 2～3 自転車事故の発生状況

●交通事故そのものは減っているが・・・

・平成24年交通事故死者数（24H以内） 4,411名

// 全体の事故件数 665,138件（1,822件/日）

// 自転車乗用中の事故件数 132,048件 ※全体の19.9%

// 自転車事故で亡くなった方 560名 ※全体の13.1%

→高齢者、子供、大きな割合

●子供の頃、交通安全教室を行っているが、自転車の加害事故は2万3,609件。自転車の事故全体に占める割合は15.6%。

P. 4～5 自転車安全利用五則

●地方都市は歩道が広いが・・・

→歩道を色分けしている→スピードを出してしまう→歩行者が自転車の所を歩いているのでぶつかる

●ルールを伝えることが苦勞→何とか減らして安全に繋がれば良い

## P. 6～7 自転車事故のリスク

### ●事故を起こした時

#### A 加害者となり責任を問われる場合

1. 他人にケガをさせる
2. 財物を壊す（損害を与える）

#### B 被害者となる場合

3. 自分のケガ

### ●刑事上の責任・民事上の責任・道義的な責任

### ●車の場合は免許停止があるが、自転車は免許なし。そのため、いきなり刑事罰になる前科がつく場合もある。

### ●損害賠償については、未成年も関係なし。→親にも責任

### ●損害賠償に備える保険

自動車…自賠責保険（法律で決まっている）

自転車保険の専用のものはあるか？

- ・特化したものが少ない。
- ・盗難保険もあったが、盗まれる確率が高く、保険金が増えてしまった。
- ・現在、関心が高まっているので、学校単位や契約者が多い場合など、引き受けているところもある。
- ・少額で入れる保険やコンビニで入れる保険もある。

### ●保険は何かあった時のあくまでも備えであるため、まずは、事故を起こさないことが必要である。

最後に、「日本損害保険協会のご案内」の冊子をもとに、その他活動の説明を行いました。

### ●全国交通事故多発交差点マップについては、ホームページ上で確認可能。

### ●実際事故が起きた場合は、そんぽADRセンターの活用可能。

年間8万件程度の問い合わせあり（ピーク時10万件）

以上をもってご講演を終了し、質疑応答を行った。

質問1：自転車事故の統計は、軽快車（ママチャリ）も入っているのか？また、スポーツ車（ロードバイク）独自の統計はあるのか？

→軽快車も入っているが、車種別の統計データは無し。

質問2：携帯電話を使用しての運転や傘さし運転について、都道府県により、ルールが違ふとのことであるが、神奈川県はどうか？

→全ての都道府県について把握していないため、神奈川県は不明。

質問3：自転車は、免許制度が無く、ルール違反をすると前科になってしまう場合があるため、自動車と比べて不公平では？

→自転車のみ厳しいということではない。車でも、重大事故に起因すれば、禁固刑もある。

質問4：自転車販売店において、お客さんに保険制度について、説明した方が良いのか？

→説明していただくのはありがたいが、保険業務のため、代理店登録をしていなければ扱えない。ただし、保険業界に対して、もっと周知して欲しいとの声があるため、販売店との連携も検討している。

質問5：自転車の保険について、どの保険に加入すれば良いのか分からない？また、旅行する際の保険の選び方は？

→入院重視や通院重視などパターンが色々あり、比較が難しいので、比較サイト等で確認していただくのが望ましい。旅行保険についても、個人賠償が少なく、組み合わせが難しい。

質問6：自転車保険について、70歳以上が加入できないものが多く、高齢化社会に対応していないのでは？

→保険会社も商売で行っているため、全体から見ると、公平性の観点から難しくなっている。加入できるものについては、商品担当者に確認します。

質問7：グループツーリング（その時のみ）に適した保険は？

→イベント保険はあるが、上記回答と同様に、保険自体が少ない。

質問8：自転車通勤をしている場合の労災適用については？

→会社に内緒で行っている場合も含めて、ケースバイケースである。

最後に事務局より、平成24年度の「自転車セミナー」は、本日で終了、平成25年度においても、6月から、年5回程度を予定している旨説明を行い終了となった。

<配布資料（2種）>



<セミナーの様子>

